

## 寿工業株式会社

所在地 栃木県下都賀郡野木町大字野木 144番地

従業員数 37名(2016年3月1日現在)

主な事業内容 当社は 1966年にこの野木町に工場(当時の社名は中越プリントボード株式会社)を構え、以来半世紀の間建築材料に塗装を施し供給してきた建材塗装メーカーです。

内装材では主に不燃材であるケイ酸カルシウム板に、当社が培ってきた技術により平滑に下地を処理し 上塗りを施し、化粧ケイ酸カルシウム板という製品として市場に供給しております。用途としまして、公共施設・工場等の内壁に多く使用されております。

外装材の例では木目柄を表現する技術を用いて、公共施設・住宅等の外壁材・軒天材として供給しております。また、大型カラー印刷機を新規に導入し、高付加価値製品の開発にも力を入れており、野木町と同様に更なる発展を目指しております。



生まれも育ちも野木町で 43年間過ごしてきましたが、昨年より東京での勤務となり野木町を初めて離れました。離れてみて、野木町に帰る度に少しずつ発展の変化に気づく様になりました。また、四季の変化も野木町で気づきます。外から見て野木町の良さが増えました。(東京営業所 佐伯 玲嗣)

## 広報連絡委員レポート No.360

## 永平寺を参拝して



広報連絡委員  
上原 明美

昨年、息子の大学卒業にあたり、福井県の永平寺に行く事ができました。これまでも何回か福井を訪れているもの、なかなか永平寺に行く事ができませんでした。しかし、昨年、「北陸新幹線」も開通し、本当に便利になり、私も主人、息子と3人で永平寺を参拝することができたのです。

「永平寺」は今から約770年前の寛元2年(1244)道元禪師によって開かれた座禪修行の道場です。境内は、三方を山に囲まれた深山幽谷の地に大小70余りの建物が建立されております。

永平寺を開かれた、道元禪師が、お釈迦様から伝わった「座禪」という正しい仏の教えを受け継がれて、初め京都に道場を作ったのですが、寛元元年(1243)に越前の国(福井県)に移られ永平寺を開かれたそうです。

現在は、曹洞宗の大本山として、僧侶の育成と檀信徒の源と

なっています。

私も永平寺の壮大な広さの中に建立されている建物を見てとてもびっくりしました。私が、参拝した中で、「傘松閣」という156敷の大広場で、天井絵が花や鳥を中心に描かれた美しい色彩画にすぐく心が洗われ感動しました。別名「絵天井の大広間」とも呼ばれるそうです。また、永平寺では瓦志納ということで、雪の深い永平寺ならは、毎年多くの屋根瓦を取り替えなければならぬそうで、参拝した人に瓦修復の御志納金をお願いしているという事で、私も1口納めて参りました。

現在も、「北陸新幹線」の開通以来大人気になっておりますが、金沢からちよつと足を伸ばして、福井県を訪れ「永平寺」を参拝してはいかがですか。私もまた、ゆっくり訪れたいと思っております。

